

○令和6年1月22日 環境建設委員会の第4回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「自然公園の魅力向上について」及び「道路・都市計画行政について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、引田公民館において城山園地（東かがわ市引田）を遠望し、瀬戸内海国立公園という自然的価値や、令和2年に国史跡に指定された引田城跡の歴史的価値も活用した同園地の魅力ある地域づくりに向けた取組について説明を受け、質疑を行いました。



次に、国道11号〔大内白鳥バイパス〕（東かがわ市帰来）の工事現場を訪問し、慢性的な渋滞の緩和やバイパス並行市道（通学路）を抜け道として利用していた車両の減少による通学路の安全性確保、さらに白鳥大内ICへのアクセス向上による地域産業の活性化等に寄与するバイパス整備工事の概要について説明を受け、現場の視察、質疑を行いました。



次に、都市計画道路 中新町詰田川線〔花園町工区〕（高松市花園町 外）の現地を視察し、緊急輸送路である本路線の防災機能の強化や都市景観の向上を図るとともに、混雑する通勤・通学時の歩行者や自転車利用者の安全を確保するために実施した電線共同溝整備事業について説明を受け、質疑を行いました。

